

令和7年（2025年）

県政記録いしかわ



石川県

目次

● 令和7年県政の主な出来事

1月	2ページ
2月	4ページ
3月	5ページ
4月	7ページ
5月	9ページ
6月	11ページ
7月	12ページ
8月	13ページ
9月	16ページ
10月	17ページ
11月	18ページ
12月	20ページ

● 令和7年県政年表……………22ページ

令和7年（2025年）県政記録いしかわ

発行 令和8年3月
発行者 石川県総務部知事室戦略広報課
〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
電話076-225-1239

1月の主な出来事

令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 犠牲者追悼式の開催（1日）

令和6年能登半島地震、令和6年奥能登豪雨でお亡くなりになった方々への哀悼の意を表するとともに、地震・豪雨からの創造的復興に向けた決意を新たにするため、追悼式を開催しました。



「今行ける能登」の情報を継続発信

能登の宿泊施設や観光施設の再開状況のほか、イベント情報などを「今行ける能登」として発信し、誘客促進に努めています。

A composite image showing the 'Now You Can Go to Noto' website and app. The website features a grid of articles with images of Noto's scenery and culture. The app shows a map of Noto with various icons representing different locations and services. A large background image shows a sunset over a beach with people walking.

いしかわ伝統工芸フェア30周年特別展を開催（11日～13日）

毎年2月に東京で開催する、いしかわ伝統工芸フェアが30回の節目を迎えることから「30周年特別展 令和6年能登半島地震復興支援企画 石川の工芸のある暮らし～復興へのみち、次なる挑戦～」を日本橋高島屋で開催しました。県内の伝統的工芸品の展示販売をはじめ、節句に合わせたテーブルコーディネート、被災産地の復興への取り組みなどを紹介し、3日間で1万人を超える方にご来場いただきました。



令和6年能登半島地震アーカイブ「震災の記憶・復興の記録」公開（29日）

令和6年能登半島地震および令和6年奥能登豪雨による災害の記憶と記録を後世に継承するとともに、復旧・復興の過程で得た教訓などを今後の災害対策や防災教育等に生かしていくため、「令和6年能登半島地震アーカイブ」を構築しました。県民の皆さんなどが撮影した地震・豪雨に関する写真や映像を収集し公開しています。



公費解体加速化プランを改定（31日）

申請棟数の推移と令和6年奥能登豪雨による影響を踏まえ、解体見込棟数及び災害廃棄物推計量を見直すとともに、仮置場の効率的な運用・管理、運搬体制の強化、広域処理先の拡充等を図るため、公費解体加速化プランを改定し、公費解体を進めました。



2月の主な出来事

令和7年大雪が発生（4日～8日、21日～22日）

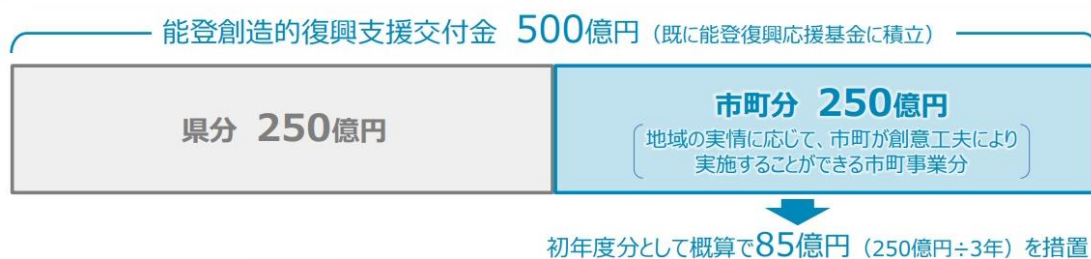
4日と21日から県内で大雪警報が発表され、その後七尾市（7日）、宝達志水町（21日）、輪島市（22日）での降雪状況により「顕著な大雪に関する気象情報」が発表されました。

県では災害対策本部を設置し、関係機関と連携して、被害状況や道路状況などの情報収集、情報発信を行いました。



能登創造的復興支援交付金の創設（28日）

国により、能登の創造的復興に必要な施策に幅広く活用できる自由度の高い交付金として「能登創造的復興支援交付金」が新たに創設されました。複数年にわたり活用するため、能登復興応援基金に積み立て、被災地の復興に効果的に活用しています。



市町の **創造的復興** と **地方創生** に資する取り組みに対し、**県が複数年にわたり、事業の実施に合わせて交付**

(例)



住宅再建支援
(いしかわ型復興住宅モデルプラン集イメージ)



輪島塗の若手人材育成プロジェクト
(人材養成施設のイメージ)

3月の主な出来事

金沢城公園二の丸御殿整備工事起工式の開催（9日）

金沢城の中心的な建物であった二の丸御殿の復元は、これまで進めてきた金沢城復元整備の総仕上げといえるものです。儀礼や政務の場であった「表向」の主要部について段階的に復元整備を進めます。第1期の工事では、玄関や式台周辺を対象とし、2033年度頃の完成を目指しています。



玄関（復元イメージ）



虎の間（復元イメージ）

仮設住宅等におけるサポート拠点の開設（19日～）

奥能登地域で、仮設住宅等の高齢者や障害者などの支援が必要な被災者に、食事提供や入浴などのサービスを行うサポート拠点が県・市町の支援を受けた事業者によって順次整備されました。市町とも連携し、被災者の皆さんが安心して生活できるよう、サポート体制の充実に取り組んでいます。



（珠洲市）長寿園ふれあいセンター（3月19日開設）



（輪島市）コミセンマリンタウンBASE（4月20日開設）



（能登町）なかよしサポートセンター（6月2日開設）

新型移動交番車 2 台の拡充整備 (28日)

令和 6 年能登半島地震の発生後、被災地である能登の復旧復興を治安面で支えるため、新たに新型移動交番車 2 台を輪島警察署及び珠洲警察署に 1 台ずつ配置し運用を開始しました。



金沢港港湾計画の改訂 (31日)

コンテナ船の大型化やクルーズ船寄港の増加、カーボンニュートラルポートの形成促進など、金沢港を取り巻く環境に的確に対応・発展していくため、金沢港港湾計画を改訂しました。



【主要な方針】

大浜地区を核とした物流機能の強化と港湾施設の強靱化に加え、クルーズ船の受け入れ体制の強化と周辺地域との連携強化を目指す

○大浜国際物流ターミナルの岸壁延伸
(耐震強化)
→外貨貨物の集約

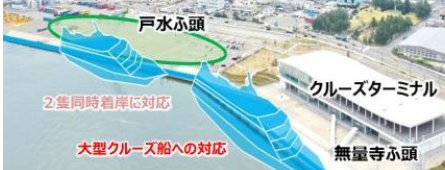
○周辺地域との連携強化
→歩行空間の確保やサイクリング環境の向上

○クルーズ船の受入体制の強化
→クルーズ船の寄港数の増加への対応
→大型クルーズ船の受入への対応

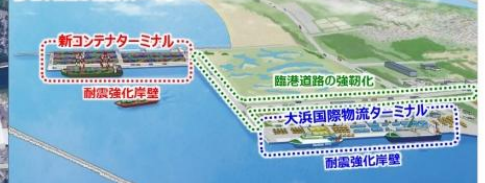
○新コンテナターミナル整備
→大型化するコンテナ船への対応

○道路ネットワークの強化
→新コンテナターミナルに対応した輸送能力強化

【戸水・無量寺地区の将来のイメージ】



【大浜地区の将来イメージ】



4月の主な出来事

消防防災ヘリコプター「はくさん」新機体の運航開始（1日）

県の消防防災ヘリコプター「はくさん」の新機体が就航しました。1997年就任の初代「はくさん」から28年ぶりの機体リニューアルとなり、定員数の増加や航続距離の向上など性能が上がるとともに、ヘリコプターテレビ電送システムやバックモニターなどの新たな装備が搭載されています。



のと鉄道が震災語り部観光列車の運行を開始（6日～）

のと鉄道が、観光列車「のと里山里海号」を活用し、発災以降の状況や被災体験をアテンダントが車窓とともに伝える「震災語り部観光列車」の運行を開始しました。



県立あすなろ中学校（夜間中学）の開校（7日）

様々な事情で義務教育を修了できなかった方や、不登校などにより十分な教育を受けないまま中学校を卒業した方、外国籍の方などに教育の機会を確保するため、北陸で初となる県立夜間中学「県立あすなろ中学校」が開校しました。



県立あすなろ中学校 校章



いしかわ特別支援学校新校舎（大場校舎）の開校（いしかわ特別支援学校知的障害部門高等部の金沢向陽高校への移転整備）（8日）

金沢向陽高校の敷地内に、いしかわ特別支援学校（知的障害教育部門・高等部）の新校舎を建設しました。両校の生徒が日常的に交流できる環境を整えることで、全国モデルとなるインクルーシブ教育の実現を目指しています。



輪島塗大型地球儀の大阪・関西万博での展示（13日～10月13日）

石川県輪島漆芸美術館が所蔵し、令和6年能登半島地震でも無傷で残った輪島塗の大型地球儀「夜の地球 Earth at Night」が、大阪・関西万博で常設展示されました。

パビリオンには、万博全体来場者の約1割を超える320万人が訪れ、「輪島塗の技術の奥深さに感動した」などの声が多数寄せられました。



5月の主な出来事

生活再建支援アドバイザーの設置（12日） いしかわ被災者支援センターの開設（6月30日）

令和6年能登半島地震および令和6年奥能登豪雨で被災し、自力での生活再建や住まいの確保に課題を抱える世帯を対象に、「生活再建支援アドバイザー」が伴走支援を開始しました。

また、その活動拠点となる「いしかわ被災者支援センター」（金沢市駅西本町）を開設し、相談窓口としての運用も開始しました。



令和6年能登半島地震復興状況等ご視察のため愛子内親王殿下がご来県（七尾市・志賀町）（18日、19日）

令和6年能登半島地震の復興状況を視察するため、愛子内親王殿下が石川県を初めて訪問され、七尾市の仮設住宅や志賀町の仮設店舗などで、被災者や支援者にお声がけされました。



いしかわアーバンスポーツパークスを開催（七尾市）（25日）、 （金沢市）（9月13日）

本県スポーツの裾野拡大を図るため、若い世代からの人気が高く、パリオリンピックの正式種目にも採用されたアーバンスポーツの代表的な種目を一堂に集め、体験会やデモンストレーションなどを行うイベントを開催しました。



石破総理が来県、米国関税措置により影響を受ける事業者と車座意見交換を実施（小松市）（25日）

石破総理が小松市を訪れ、米国関税措置により影響を受ける県内の事業者らと意見交換しました。



石川県防災会議を開催（26日、9月4日）

国の防災基本計画が見直されたことを受け、石川県防災会議を開催し、石川県地域防災計画を修正しました。また、9月4日には臨時の石川県防災会議を開催し、5月に公表された地震被害想定や、8月に取りまとめた令和6年能登半島地震の初動対応の検証結果などを反映し、地域防災計画を改定しました。



ツインブリッジのと（中能登農道橋）の暫定供用開始（16日～）

令和6年能登半島地震で被災し、通行止めとなっていたツインブリッジのと（中能登農道橋）について、車両の重量規制を設けたうえで、片側交互通行による暫定供用を開始しました。



IRいしかわ鉄道乗車人員1億人を達成（22日）

IRいしかわ鉄道の累計乗車人員が1億人を達成しました。

3月に開業10周年、ならびに県内全線開業1周年を迎えた記念すべき年に、大きな節目となりました。



大の里関に県民栄誉賞を贈呈（29日）

県内出身力士としては52年ぶり、史上最速となる初土俵から13場所での横綱昇進を果たした大の里関の栄誉をたたえ、県民栄誉賞を贈呈しました。



7月の主な出来事

漁業調査指導船「白山丸」の竣工（2日）

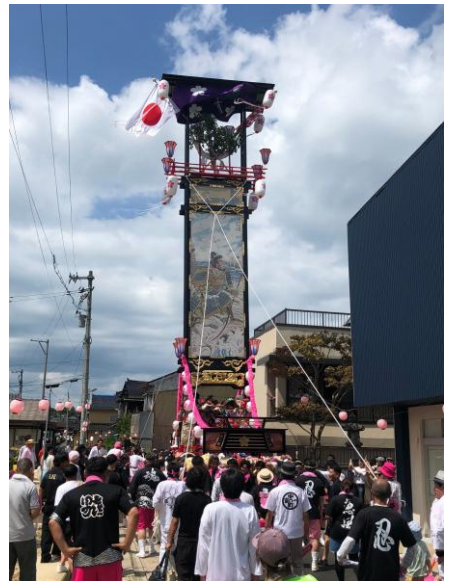
先代「白山丸」の建造から29年が経過し老朽化が進んだことから、6代目「白山丸」が竣工しました。

水産資源の分布量や海水温等の環境、地震等による海底地形の変化などの調査をしていきます。



祭りお助け隊を能登の祭りに派遣（4日～10月25日）

能登の祭りの再開の課題となっている担い手の確保に向けて、県内外からボランティアを募り、「祭りお助け隊」として地域の祭り実施団体からの要望に応じて派遣しました。



令和8年度トキ放鳥場所の決定（16日）

国から本県のトキ受入に向けた生息環境や社会環境の整備などの取り組みが高く評価され、令和8年度上半期に能登地域でトキを放鳥することが決定されました（令和7年2月14日）。この決定を受け、能登地域トキ放鳥受入推進協議会で協議した結果、令和8年度のトキ放鳥場所は「羽咋市南潟地区（邑知潟周辺）」に決定しました。



8月の主な出来事

8月6日から大雨が発生（6日）

8月6日から8日にかけて、日本海側の前線の影響で加賀北部を中心に記録的な大雨となりました。7日には顕著な大雨に関する気象情報が発表され、金沢市では観測史上最大となる24時間雨量331.5mmを記録し、災害救助法が適用されました。金沢競馬場では広範囲が浸水するなどの被害が発生しましたが、排水ポンプの増設で早期に浸水を解消し、陥没の復旧・整地等に努め、1か月後の9月7日からレースを再開しました。また、七尾市中島町小牧の国道249号では、8月12日に道路が崩落しましたが、24時間体制で応急復旧を進めた結果、9月12日15時に通行止めが解除されました。



もりのひみつきち入館者10万人を達成 (17日)

石川県森林公園の屋内木育施設「もりのひみつきち」では、令和7年7月20日のオープン以来、入館者の累計が10万人に達しました。オープンから1年1か月での達成であり、これを記念して10万人目の入館者へ記念品贈呈などが行われました。



地震・豪雨の風化防止に向けた動画および特設サイトの公開 (27日)

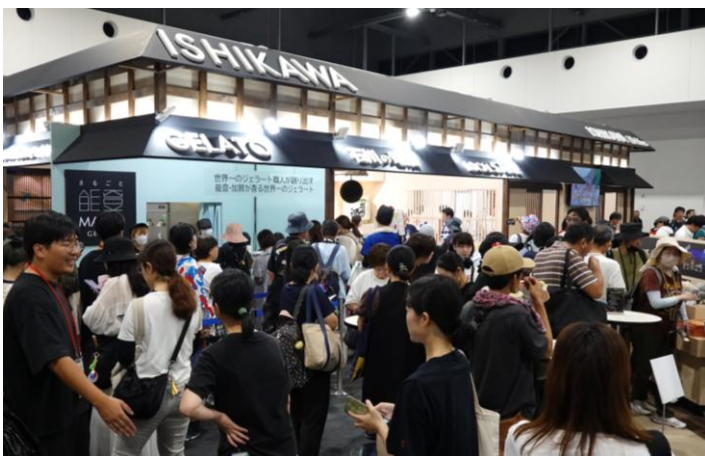
地震・豪雨の風化防止に向け、能登で困難を乗り越えて生きる人々に焦点を当てた動画を制作し、デジタル広告などで全国に発信する取り組みを開始。8月27日に、動画や支援制度へのリンクを掲載した復興応援特設サイトを公開しました。



特設サイトを見る▶

EXPO2025 大阪・関西万博に出展 (27日～31日)

4月13日から10月13日にかけて開催された大阪・関西万博において、「祭り」と「食文化」をテーマにした催事「石川の日」を実施しました。催事には期間中、約9万4千人が来場し、多くの方に本県の魅力を体感いただくとともに、地震や豪雨からの復旧・復興に向けた取り組みを世界に向けて発信しました。



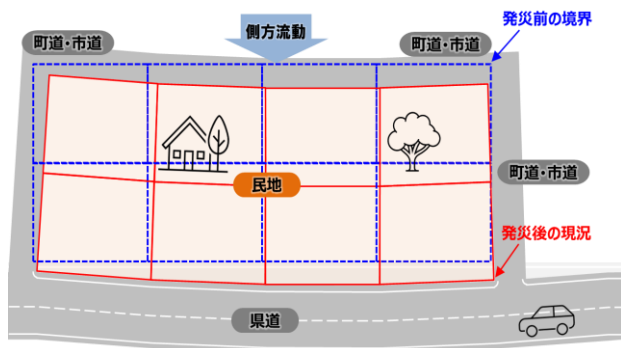
犯罪被害者等支援ワンストップサービスの運用を開始（1日）

犯罪被害者等への支援は、医療面、生活面、経済面など多岐にわたり、支援の種類や窓口が分からず支援にたどり着けないことや、複数の支援機関を回って繰り返し説明をすることが大きな負担となっていたことから、負担軽減と円滑な支援のため、県庁内に支援コーディネーターを配置し、ワンストップサービスを開始しました。



「土地境界再確定加速化プラン」を策定（1日）

令和6年能登半島地震に伴う液状化で、側方流動の被害を受けた土地の境界再確定を加速化するため、石川県の要請で、国・県・被災市町・専門家で構成するプロジェクトチームを発足し、境界再画定までの期間を大幅に短縮するための具体的な対策と工程を取りまとめた「土地境界再確定加速化プラン」を策定しました。



かほく市大崎地内



内灘町西荒屋地内

令和6年奥能登豪雨犠牲者追悼献花台の設置および知事の献花・黙とうを実施（21日）

令和6年奥能登豪雨でお亡くなりになった方々への哀悼の意を表するため、発生から1年となる令和7年9月21日に、輪島市、珠洲市、能登町と石川県庁に献花台を設置するとともに、知事が3市町の献花台と輪島市久手川地区を訪問し、献花・黙とうを実施しました。



10月の主な出来事

トキのシンボルマーク・キャラクターを公表（16日）

トキ放鳥PRに向けて募集していたシンボルマークとキャラクターのデザインについて、一般投票の結果を踏まえ、能登地域トキ放鳥受入推進協議会が決定しました。

決定したシンボルマークは米づくりの認証マークとして、キャラクターはトキ放鳥PRや土産物などに活用していきます。



シンボルマーク



能登地域トキ放鳥PRキャラクター
「のっとり」
※令和8年1月に愛称決定

キャラクターの
利用はこちら

のと里山空港搭乗者300万人を達成（27日）

のと里山空港の搭乗者数が、2003年7月7日の開港から23年目で300万人を達成しました。

今後も、首都圏と能登地域を結ぶ空の玄関口として、能登地域の活性化に大きな役割を果たしていきます。

達成までの歩みを
動画で見る



公費解体の完了目標をおおむね達成

令和6年能登半島地震や令和6年奥能登豪雨で被災した建物の公費解体について、土砂崩れで解体に着手できない建物や旅館や工場などのような大規模な建物など、市町がやむを得ないと判断した別管理建物を除き、10月末時点で申請棟数の95%の解体が完了し、公費解体加速化プランで設定した10月末での解体完了目標をおおむね達成しました。



11月の主な出来事

アーバンスポーツ施設「NOTO COMPLEX PLAYGROUND」がオープン（1日）

被災地の子どもたちがのびのびと遊べる場として、屋内型アーバンスポーツ施設「NOTO COMPLEX PLAYGROUND」が輪島市にオープンしました。ロックユニット「COMPLEX」などからの寄附金を活用し、能登の未来を創る先導的な取り組みとして（一社）能登官民連携復興センターが支援しました。



関係人口ポータルサイト「いしかわのWa！」の運用開始（1日）

関係人口の創出・拡大に向けて、地域活動に関心のある個人（サポーター）と、石川県のために地域活動を実施する団体（オーナー）をつなぐ石川県関係人口ポータルサイト「いしかわのWa！」の運用を開始しました。

震災からの復興に取り組む能登をはじめ、石川県の地域団体などの「困りごと」に、全国の皆さんが「関わり」を通じて寄り添い、支え合う「輪」を広げていきます。



羽咋道路(四柳町～志々見町)・県道若部千里浜インター線(飯山町～尾長町) 開通式（1日）

国道159号羽咋道路の羽咋市四柳町から志々見町までの延長3.3km区間が開通しました。あわせて、この道路に接続する県道若部千里浜インター線の飯山町から尾長町までの延長0.8km区間も同日に供用開始となり、羽咋市中心部と周辺地域のアクセスが向上し、広域交流の拡大や災害時のルート確保が期待されます。



令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨復興支援事業 「ひと、能登、アート。」を開催（15日～令和8年3月1日）

地震や豪雨で被災した方々を文化の力で応援するため、東京国立博物館をはじめとする美術館・博物館などが連携し、名品を一堂に集めた特別展を開催しました。

東京都内を中心とした30の文化施設や個人などが所蔵する国宝3件、重要文化財20件、重要美術品1件を含む計86件の名品が、県立美術館、金沢21世紀美術館、国立工芸館に集結しました。

3館合同による展覧会は今回が初めてです。



プレミアム・パスポートの対象をすべての子育て世帯へ拡大（16日）

協賛店舗でパスポートを提示すると、割引などの特典を受けられる「プレミアム・パスポート事業」。社会全体で子育てを応援する気運を、より一層醸成するため、対象を第2子以上世帯から、第1子以上のすべての子育て世帯へ拡大しました。



令和6年能登半島地震・奥能登豪雨復興祈念シンポジウムの開催 （東京都）（22日）

令和6年に発生した能登半島地震及び奥能登豪雨からの復旧・復興に対し、これまで全国からいただいたご支援に感謝を伝えるとともに、創造的復興の歩みと未来への展望を広く発信するため、「令和6年能登半島地震・奥能登豪雨復興祈念シンポジウム」を開催しました。



「トキの放鳥を契機とした新たな米づくり認証制度」の創設（1日）

トキ放鳥を契機に、化学肥料や農薬を削減し、トキの餌場づくりなど、生息環境に配慮した米づくりを認証する制度を新たに創設しました。

あわせて、認証を受けた生産者が取り組みを広くPRできるよう認証マークを作成し、米袋への表示やのぼり旗への活用を進めていきます。



〈5割以上削減〉



〈3割以上削減〉

「奥能登営農復旧・復興フォーラム」の開催（6日）

今後の奥能登農業の復旧・復興に向けて、農家の営農意欲を高め、営農再開に一丸となって取り組んでいくため、農業者をはじめ、県、国、市町、JAなど関係機関が一堂に会するフォーラムを、JAのとで開催しました。



のと里山海道4車線化（羽咋市柳田町～寺家町間）完成式（6日）

のと里山海道の羽咋市柳田町から寺家町までの2km区間で4車線化工事が完了し、柳田IC～上棚矢駄IC間9.6kmのうち、これまでの供用区間とあわせて約8kmが4車線となりました。

これにより、道路の安全性が一層向上するとともに、能登と金沢の時間距離がさらに短縮されることで、観光誘客や能登の創造的復興など、多方面に効果をもたらすことが期待されます。



高市総理が被災地を視察（輪島市、珠洲市、穴水町、七尾市）（7日）

高市総理が、地震と豪雨からの復旧・復興状況を視察するため、能登の被災地を訪問しました。のと里山空港で献花と黙とうを行った後、珠洲市大谷町の土砂崩れ現場、応急仮設住宅、輪島朝市通りの火災現場、和倉温泉を視察され、あなみずスマイルマルシェでは出店事業者と意見交換を行いました。



加賀料理が国の登録無形文化財に登録（18日）

料理だけでなく、器やもてなしまでを含めた総合芸術として加賀料理が国の登録無形文化財に登録されました。

県と加賀料理技術保存会が一体となって、次代の担い手育成や加賀料理の魅力発信、誘客促進に取り組んでいきます。



いしかわ子どもの権利基本条例の制定・施行（24日）

子どもの権利が保障され、健やかに笑顔あふれる生活を送ることができる、幸福度日本一の石川県の実現に向け、条例を制定・施行しました。

条例に基づき、県や市町、保護者、学校・児童福祉施設、地域などみんなで子どもの権利を守ります。



別管理建物を除く公費解体の完了

令和6年能登半島地震や令和6年奥能登豪雨で被災した建物の公費解体について、12月末時点で別管理建物を除いた申請棟数42,385棟の全ての解体が完了しました。



1月	
	「今行ける能登」の情報発信（令和6年2月～継続実施）
1日	令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨犠牲者追悼式の開催
1日	盛土規制法の規制開始
11日	いしかわ伝統工芸フェア30周年特別展を開催（～13日）
12日	県民スペシャル応援デーの開催（～12月14日・計10回）
19日	石川ユナイテッドと連携した能登復興支援事業の開催（～7月27日・計4回）
24日	令和6年能登半島地震対策検証委員会の開催（3月21日、5月28日／報告書手交 8月1日／検証結果を踏まえた地域防災計画の改定 9月4日）
25日	観能の夕べを開催（～8月30日・計14回）
29日	令和6年能登半島地震アーカイブ「震災の記憶・復興の記録」公開（コンテンツ追加 10月1日、12月25日）
31日	公費解体加速化プランを改定（公費解体見込棟数の見直しや令和6年奥能登豪雨影響の追加）
2月	
1日	金沢城・兼六園四季物語の開催（8日、15日、21日、4月2日～13日、26日、27日、5月3日～5日、6月7日、27日、28日、7月4日、5日、8月9日、10日、16日、23日、30日、10月18日、25日、11月1日、2日、8日、15日、22日、23日、29日）
4日	令和7年大雪が発生 <ul style="list-style-type: none"> ・2月4日から大雪（～8日） 2月7日20時36分 七尾市で顕著な大雪に関する気象情報発表 ・2月21日から大雪（～22日） 2月21日 8時37分 宝達志水町で顕著な大雪に関する気象情報発表 2月22日 5時34分 輪島市で顕著な大雪に関する気象情報発表
7日	いしかわ伝統工芸フェア2025を開催（～9日）
11日	首都圏イベント「『能登牛』復興に向けて」の開催
14日	令和8年度上半期を目処とした能登地域でのトキ放鳥が決定
19日	石川県国民保護共同図上訓練の実施
19日	（第2回）奥能登公立4病院機能強化検討会の開催（第3回 8月7日、第4回 11月20日）
28日	能登創造的復興支援交付金の創設
3月	
7日	いしかわ障害者アート展を開催（～16日）
8日	国際女性デーに合わせ「共に創る未来フェスin石川」を開催
9日	金沢城公園二の丸御殿整備工事起工式の開催
19日	仮設住宅等におけるサポート拠点の開設（珠洲市）※以降、輪島市、能登町で開設
26日	災害救助犬審査会の開催
28日	新型移動交番車2台の拡充整備
31日	小松空港中期ビジョンの策定
31日	社会福祉会館移転建替工事の基本構想の策定
31日	金沢港港湾計画の改訂
4月	
	県の組織機構を改革 総務部
1日	「人事・組織経営課」を設置（「人事課」と「行政経営課」を統合） 危機管理部 「危機管理部」を設置（「危機管理監室」を改組）

1日	消防防災ヘリコプター「はくさん」新機体の運航開始
1日	「加賀の國」広域観光イベントの開催（～令和8年3月31日）
1日	能登ふるさと博の開催（～令和8年3月31日）
1日	いしかわ動物愛護基金の創設
1日	消費者基本計画の策定
6日	のと鉄道が震災語り部観光列車の運行を開始
6日	交通安全県民運動を実施（～15日、7月11日～20日、9月21日～30日、12月11日～20日）
7日	石川県電気・ガス価格高騰緊急対策支援事業の実施（～7月31日、10月1日～11月28日）
7日	県立あすなろ中学校（夜間中学）の開校
8日	いしかわ特別支援学校新校舎（大場校舎）の開校（いしかわ特別支援学校知的障害部門高等部の金沢向陽高校への移転整備）
11日	チャレンジ支援補助金の創設
13日	輪島塗大型地球儀の大阪・関西万博での展示（～10月13日）
22日	石川県と徳島県との地域活性化及び防災等に関する連携協定を締結
24日	小松・香港便（香港エクスプレス）が週3便で運航開始
25日	石川県創造的復興プランをアップデート
27日	ガルガンチュア音楽祭2025を開催（～5月5日）
5月	
	LPガス料金負担軽減支援の実施（5月：4月分、10月：9月分）
12日	生活再建支援アドバイザーの設置、いしかわ被災者支援センターの開設（6月30日）
15日	起業促進補助金の創設
16日	白山白川郷ホワイトロードの無料区間が7シーズンぶりに完全二車線で開通
18日	令和6年能登半島地震復興状況等ご視察のため愛子内親王殿下がご来県（七尾市、志賀町 19日）
20日	石川県成長戦略「ミライカイギ」の開催（10月8日）
24日	「いしかわトキの日」放鳥決定記念イベントを開催
25日	いしかわアーバンスポーツパークスを開催（七尾市、金沢市 9月13日）
25日	石破総理が来県、米国関税措置により影響を受ける事業者と車座意見交換を実施（小松市）
26日	石川県防災会議を開催（9月4日）
26日	石川県地震被害想定調査結果を県防災会議で報告
31日	県政出前講座特別編「はせ、参じます。」を開催（～12月21日・計24回）
6月	
3日	金沢城スペシャルガイドツアーを実施（～28日・前期8回、10月4日～11月6日・後期8回）
9日	社会福祉会館移転建替工事の基本設計の着手
9日	輪島港復旧・復興プランの策定
16日	ツインブリッジのと（中能登農道橋）の暫定供用開始
22日	IRいしかわ鉄道乗車人員1億人を達成
29日	大の里関に県民栄誉賞を贈呈
30日	令和6年能登半島地震に係る応急仮設住宅の供与期間の延長
7月	
1日	感震ブレーカー設置促進補助制度開始
1日	経営安定支援融資に「米国関税対応分」の新設
2日	漁業調査指導船「白山丸」の竣工
4日	祭りお助け隊を能登の祭りに派遣（～10月25日）
8日	シェイクアウトいしかわ（県民一斉防災訓練）の実施

14日	オープンネーム方式の第三者承継マッチングサイトの開設（支援機関向けセミナー 6月30日、事業者向けセミナー 7月28日、29日）
16日	令和8年度トキ放鳥場所の決定
18日	カーボンニュートラル推進本部会議の実施
23日	いしかわ介護業務改善相談支援センターの開設
24日	岩手県と石川県との震災復興等に関する協定を締結
31日	「産学官石川復興プロジェクト会議」の開催
31日	公費解体加速化プランを改定（公費解体見込棟数等の見直し）
31日	トキのシンボルマーク・キャラクターデザインの一般投票開始
8月	
6日	8月6日から大雨が発生 8月7日 4時47分 加賀地方に顕著な大雨に関する気象情報（線状降水帯）発表
6日	8月6日から低気圧と前線による大雨に伴う災害の発生
7日	石川県災害対策ボランティア本部を設置（令和7年8月大雨）（～14日）
17日	2025いしかわミュージックアカデミーを開催（～26日）
17日	もりのひみつきち 入館者10万人を達成
20日	「輪島塗の若手人材の養成施設の整備等に関する基本構想」を策定
22日	県産ブランド農林水産物「百万石の極み」の追加認定
23日	いしかわ動物園親子夏休みバスツアーを実施（珠洲市、志賀町、能登町、穴水町 発着、30日 七尾市、輪島市 発着）
27日	地震・豪雨の風化防止に向けた動画および特設サイトの公開
27日	EXPO2025 大阪・関西万博に出展（～31日）
30日	いしかわ防災フェアの開催（9月7日、15日）
9月	
1日	いしかわ女性輝くダイバーシティ企業塾を開講（1日、10月2日、11月6日、25日、12月22日／フォローアップ研修 11月14日）
1日	犯罪被害者等支援ワンストップサービスの運用を開始
1日	「土地境界再確定加速化プラン」の策定
2日	「冠水・高潮対策プラン」策定に関する協議会の開催（第2回 12月1日）
5日	いしかわ舞台芸術祭2025を開催（～12月20日）（プレ公演 6月11日、12日）
12日	ツキノワグマ出没警戒情報を発令
21日	令和6年奥能登豪雨犠牲者追悼献花台の設置および知事の献花・黙とうを実施
28日	石川県障害者ふれあいフェスティバルの開催
10月	
	食品ロス削減月間（10月）においてイベント等を実施
	不法投棄等防止強化月間（10月）において隣県と連携した取り組みを実施
	10月末時点で、公費解体の完了目標をおおむね達成
1日	被災事業者再建支援補助金の創設（令和7年8月大雨）
10日	「いしかわゼロカーボンの日」関連イベントを開催（いしかわカーボンニュートラル市町推進会議を開催）
16日	トキのシンボルマーク・キャラクターデザインを公表
17日	賃上げ支援事業（運用見直し含む）の実施
19日	「いしかわ文化の日」「いしかわ文化推進期間」に各種事業を実施（～11月3日）
19日	「放鳥場所決定記念！トキまなびフェスタ」を開催
23日	金沢芸妓の舞を開催（～令和8年3月27日・計30回）
25日	金沢城シンポジウム「発掘遺構からみた金沢城二ノ丸御殿」を開催

27日	のと里山空港搭乗者300万人を達成
29日	運輸の合同企業説明会の開催（七尾会場、11月5日 金沢会場、11月20日 小松会場）
31日	消防力維持・強化に向けた検討会の設置・開催（11月18日）
31日	都市計画道路 寺町今町線（東山～森山）無電柱化事業の完成
31日	第72回日本伝統工芸展金沢展の開催（～11月9日）
11月	
1日	アーバンスポーツ施設「NOTO COMPLEX PLAYGROUND」がオープン
1日	関係人口ポータルサイト「いしかわのWa！」の運用開始（11月5日 キックオフイベント）
1日	児童虐待防止オレンジリボンキャンペーンの実施（～30日）
1日	いしかわ環境フェア2025の開催（～2日）
1日	いしかわパープルリボンキャンペーン2025を実施（～30日）
1日	「第46回石川の農林漁業まつり」の開催（～2日）
1日	羽咋道路（四柳町～志々見町）・県道若部千里浜インター線（飯山町～尾長町） 開通式
1日	「いしかわ教育ウィーク」で各種事業を実施（～7日）
2日	石川県防災総合訓練を実施
5日	令和7年暴力団追放石川県民大会の開催
8日	キッズケアいしかわの開催
13日	「応援消費おねがいプロジェクト」等の能登半島地震における広報活動がACC TOKYO CREATIVITY AWARDSマーケティング・エフェクティブネス部門においてグランプリを受賞
15日	令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨復興支援事業「ひと、能登、アート。」を開催（～令和8年3月1日）
16日	プレミアム・パスポートの対象をすべての子育て世帯へ拡大
17日	（第1回）精育園移転検討委員会の開催（第2回 12月22日）
22日	令和6年能登半島地震・奥能登豪雨復興祈念シンポジウムの開催（東京都）
22日	ハッピー家事シェアキャンペーンを実施（～12月22日）
24日	石川県原子力防災訓練の実施
27日	石川県交通安全県民大会を開催
29日	アニメ・スタいしかわ2025の開催（30日）
29日	被害者支援県民フォーラム2025を開催
12月	
	12月末時点で、別管理建物を除き全ての公費解体が完了
	「大雨災害時における競走馬の避難を含めた安全確保計画」の策定
1日	「トキの放鳥を契機とした新たな米づくり認証制度」の創設
6日	「奥能登営農復旧・復興フォーラム」の開催
6日	のと里山海道4車線化（羽咋市柳田町～寺家町間）完成式
7日	高市総理が被災地を視察（輪島市、珠洲市、穴水町、七尾市）
10日	「応援消費おねがいプロジェクト」等の能登半島地震における広報活動がPRアワード2025においてグランプリを受賞
10日	令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨知事感謝状贈呈式の開催
10日	飲酒運転根絶の日における啓発イベントを開催
11日	森ひかる選手、田中沙季選手へ石川県スポーツ特別賞を贈呈
18日	加賀料理が国の登録無形文化財に登録
24日	いしかわ子どもの権利基本条例の制定・施行
25日	環境保全型農業の新たなラベルの決定
27日	「磯田道史氏とひもとく 尊経閣文庫の魅力」の開催